

キャラクターデザイン学科 学科ルーブリック (学修到達度ルーブリック)

芸術学部ディプロマ・ポリシー			学科別	4	3	2	1
DP	6つの力	内容	内容	卒業時到達レベル (=DPIにおける到達目標レベル)	3年修了時到達レベル	2年修了時到達レベル	1年修了時到達レベル
人間力 自立した一人の人間として生きるための力	知識・情報収集力	自分をとりまく人間、社会、自然に対して開かれた好奇心をもち、自身の学修や企画に必要な知識と情報を、主体的かつ体系的に収集し理解することができる	好奇心を持って自分自身を取り巻く環境を多様な視点で観察することで、情報を収集分析し、体系的な知識・方法論として身につけることができる。	グローバルな視点で世界に求められている共有概念を理解する。歴史から現在への系譜をたどり、未来社会を読み解くための知識を身につけることができる。	目指す業界及び市場に対して社会体験の機会を得ることができる。社会問題にも興味関心を持ち、関連情報を収集し研究することができる。	将来設計から目指す業界及び分野を選定して、目標に向けた業界知識や社会的背景及び技術動向を収集し研究することができる。	自身の「好き」から興味関心を広げて、身の回りの生活環境を観察することで、知識を得るために自ら探求する姿勢を身につける。
	コミュニケーション力	人間の多様性を理解し、異なる価値観をもつ他者との間に相互理解を形成し、協働することができる	自身が成し遂げたい世界を、多様な価値観を持つ他者との相互理解を形成し共感を得ることで、社会未来像の実現に向けて協働することができる。	成し遂げたい世界を他者と共有し、共感を得ることで、社会未来像の実現に向けて協働することができる。	社会実装プロジェクトおよび企業インターンなどを通して、自身の人生観や作品世界を実社会において共有し、共感を得ることが出来る。	自身の価値観、成し遂げたい目標を他者に共感を得て、実現に向けて協働することが出来る。	「私」を主語として意見を述べ、異なる価値観を持つ他者に対して開かれた心を持ち意見を引き出すことで、新たな価値観や考え方を吸収することができる。
	倫理観	自身の良心と社会の多面的な理解に基づき、社会のために芸術の力を活かすことができる	芸術の力を活かして、社会全体の幸福に向けて自身が為すべきことを明確に語ることができる。	芸術の力を活かして、社会全体の幸福に向けて自身が為すべきことを明確に語ることができる。	社会人としての自覚を持ち、社会的課題に対して芸術の力を活かして、自身の人生の生き方への指針を策定することができる。	目指す業界や分野において、自身の感性を活かした芸術表現のあり方についての指針を策定することができる。	「好き」から内面を掘り下げ、生まれ持った感性を理解する。社会常識に疑いを持ち、「私」目線で身の回りの世界を見つめ直すことができる。
創造力 芸術の力を社会に活かすための力	論理的思考力	所与の情報をもとに、物事を分析的かつ論理的に考えることができる	観察による情報をもとに、常識にとらわれない新たな視点で組み合わせること、創作に向けた新しいアイデアを得られることができる。	歴史から現在への系譜をたどり収集した情報を分析研究することで、未来社会像へ向けて、取り組むべき社会課題領域を策定することができる。	社会体験の機会から得られた意見や情報を分析し、自身の将来設計の実現に向けて取り組むべき課題を得ることができる。	目標を達成するために、自身の感性を最大限に生かすことができる業界及び分野を分析し、取り組むべき課題を得ることができる。	観察から得られた気づきから、問題点を洗い出し分析することで、本質を見る力を身につけ、創作に向けたアイデアを得ることができる。
	発想・構想力	感性的な直観と理性的な分析や思考から得られた発想を統合し、具体的な研究・制作へと結びつくテーマや仮説として構想することができる	根拠のある仮説を設定して新たな価値感を生み出し、練り上げられたテーマをもとに未来社会像を描くことができる。	取り組むべき社会的課題領域において根拠のある仮説を設定して、実現したい未来社会像を構想することができる。	社会的課題解決に向けて、根拠のある仮説を設定して、具体的な解決案を策定できる。	観察・分析から根拠のある仮説を立案し、既存の枠組みから一歩進んだ新しい発想ができる。	正解にとらわれずに自由に思いつきを発散し、アイデアを組み合わせることで、新たな世界の創作テーマを立案することができる。
	表現力	テーマや仮説を、適切な媒体・形式によってモノ・コトとして可視化し提示することができる	構想した社会未来像を元に、挑戦的に領域を横断した表現として作品を完成させることができ、広く世の中へ発信し共感を得ることができる。	実現したい未来社会像に見える化し、多様な価値観を持った人々に対して共感させる作品として完成させることができる。	社会的課題解決案を広く社会に共感させる表現として作品を完成させることができる。	目指す業界及び分野を想定して、ユーザーに共感される表現として作品を完成させることができる。	新たな世界の創作テーマに基づき、作品として完成させることができる。基礎的な制作技術を身につける。